



▲商品の試食をする高校生

◀アニマルウェルフェアで飼育されている豚

次に、実際に販売するときの容器を決めなければなりません。四角型、たる型の丸い瓶、八角形の多角瓶などたくさん種類がある中、道の駅が店頭で「映える」のか。道の駅で販売する際、商品をより魅力的に見せるためのラベルデザインも生徒さんたちと道の駅阿蘇で話し合いを重ねました。さまざま

に買ってもらいたい。そしてPRポイントをアピール。道の駅の販売者としての視点も加え、商品を絞り込んだ結果、「うまかあ豚ラー」と「うまかたかなミンチ」の2品が選ばれました。どちらも豚ミンチを使ったご飯のお供にぴったりな一品です。

評価の基準は「風味」「食感」「見た目」の3項目でした。「うまかたかなミンチ」は名前のとおり、豚ミンチに阿蘇のソウルフード、高菜を加え、みそ風味にしたお惣菜。「うまかあ豚ラー」は食べるラー油です。食感は「1回目の試作では油が多いので、固めの食感を残し、辛さをもう少し足して」などの意見が出たため、何度も何度も試作を重ね、改良を続けました。

## ASO田園空間博物館 (道の駅阿蘇)

# 道の駅阿蘇×阿蘇中央高校 コラボ商品が完成

## 道

道の駅阿蘇は、平成25年度から阿蘇中央高校と連携し、地元の食材を利用した商品の開発・販売を行ってきました。これは、高校の取り組みを商品開発へとつなげるだけでなく、阿蘇の草原再生とあか牛の消費拡大にもつながっています。これまで開発したものは道の駅阿蘇の人気商品のひとつとなっているので、手に取ったことのある人も多いのではないのでしょうか。

今年度も、道の駅阿蘇のオリジナル商品を作ろう！と阿蘇中央高校の生徒たちとコラボ商品の開発に取り組んできました。

阿蘇中央高校農業食品科畜産専攻の生徒たちは、動物の飼育について学んでいます。皆さんは「アニマルウェルフェア」という言葉をご存じですか？あまり聞き慣れないこの言葉には「動物福祉」という意味があります。従来、家畜は狭い檻の中に多数が押し込まれ、ストレスフルな環境で飼育されています。人間と同じように、ストレスは動物にとっても体調にマイナスの影響を与えます。アニマルウェル

フェアでは、家畜にとって快適な環境下で、健康に飼育されます。

農業食品科畜産専攻ではアニマルウェルフェアに取り組んでいきます。きっかけは平成28年4月の熊本地震。地元が大きな被害を受け、世界農業遺産の地にある農業高校としてできることは何かを考えたそうです。その答えがアニマルウェルフェア飼育の実践だったのです。「アニマルウェルフェアで育てた豚肉は臭みがなく、柔らかくておいしい」と生徒さんたち。「このアニマルウェルフェア飼育豚の価値をもっと知ってほしい！新たな商品を作りたい！」そんな声を受けて共同開発のプロジェクトが始動しました。

生徒たちは授業の一環として、商品開発の基礎を勉強することから始め、AW豚と地域の特産物を組み合わせた商品を考えました。「そば系」「野菜利用系」「ふりかけ」「フレーク」「角煮」など、考案した商品の発表会には、色々なジャンルの商品が並びました。製品コンセプトをはじめ、味や風味の特徴、商品のターゲット(誰に売るのが、誰

な要素を検討した結果、「うまかあ豚ラー」が今回のコラボ商品第1号に決定しました。

「高校生の皆さんが、やがて社会に出たとき、モノを作っておしまいはなく、販売を視野に入れた考え方を身に付けることが実はとても大事。自分たちが作りたいもの、売れるものではない。市場とマッチしているか、どんなルートで売るのが、ニーズやサービスマッチしているか、どんな販売促進の手段などを経験する場を提供したい」と道の駅阿蘇の下城マネージャー、生徒さんたちにとっても貴重な経験となったことでしょう。

お客さまが商品を手に取り、温かいご飯の上に「うまかあ豚ラー」を浮かびます。高校生とのコラボ商品に、多くの人が喜んでくれることを期待しています。



▲うまかあ豚ラー  
問 道の駅阿蘇  
☎ 35-5088

トマトやなすなど果菜類の2大害虫 コナジラミ類、スリップス類対策に！

### 土着天敵で新しい病害虫防除をはじめませんか？

こんなお困りごとは、ありませんか？

- コナジラミやスリップスの被害に困っている
- 最近、農薬が効いていないような気がする
- 環境に優しい農業をしてみたい

土着天敵「タバコカスミカメ」について詳しい資料をお送りします。ご希望の方は右上のQRコードから当社HPへ。

総合的病害虫管理 (IPM) で、地球と農業を守る。  
株式会社 ペコIPM(イロット)  
TEL : 096-327-9173

内科 循環器科 腎臓内科 人工透析 在宅療養支援診療所 心臓リハビリテーション

当院は、生活習慣病はもちろん、心不全・狭心症・心筋梗塞・心臓弁膜症・不整脈などの心臓病や血管の病気など幅広く診療しております。また全身循環を考慮した身体に優しい人工透析も行っております。

なんでも相談できるかかりつけ医として、お一人お一人に適した医療をご提供します。何か気になる症状があるときにはいつでもご相談ください。

医療法人 坂梨ハート会  
**さかなしハートクリニック**  
阿蘇市小里249番地2  
☎0967-24-6262  
✉sakanashiheart@icloud.com

## 地域全体で児童を見守り



▲阿蘇っ子見守り隊のメンバー

阿蘇小学校学校運営協議会と阿蘇市地域学校協働本部が、文部科学大臣表彰を受賞し、2月14日、市長に受賞を報告しました。同協議会は、老人会や民生委員など地域住民と共に「阿蘇っ子見守り隊」を結成。70～80人程のメンバーが、毎朝登校時の見守り活動を行っており、学校を核とした地域づくりに取り組んでいる点が評価されました。メンバーの1人は「毎朝早起きして子供たちの顔を見るのが楽しみ」と話しました。

## 茶道を通じて礼儀を学ぶ



▲お茶を点てる園児ら

3月2日、卒園する園児が保護者らにお茶を点てる「お別れ野点」がりんどう保育園であり、年長児20人がお茶を振る舞いました。

りんどう保育園では、礼儀作法を身をもって体得し、感謝や人を敬う心を育むため、年長児が月に2回茶道の稽古をしています。集大成として開かれた野点では保護者が見守る中、1年間の稽古の成果を披露。家入慶ちゃん「上手に泡を点てられた。小学生になってもまたしたい」と話しました。

## 健康な生活へ 3者で協力



▲酒井一匡校長(中央左)、木下統晴理事長(中央右)

2月16日、市と熊本保健科学大学、阿蘇中央高校の3者は、高齢者の健康寿命を延ばすための取組みに関する包括連携協定を締結しました。令和5年度には、阿蘇市に在住する高齢者を対象に、3者が共同で体力測定を実施。同大が結果を分析したのち、現在の体力を維持、向上するためのアドバイスをを行います。

計測やデータ分析などの手法は高校生にも指導。学生や生徒の実践的な学びの場とすることで、地域の健康を支える人材の育成にもつなげます。

## 阿蘇からめざせ発明王



▲クルッとごみぶくろ(左)、おりたたんで持ち運べる本だな(右)

(公社)発明協会が主催する全日本学生児童発明くふう展で、一の宮小の児童が2年連続で入賞・入選するという快挙を果たしました。

令和3年度の第80回では、当時4年生の尾前操太さんの「おりたたんで持ち運べる本だな」が奨励賞を受賞。木の板をちょうつがいで繋ぎ、コンパクトに折りたためる本棚を作りました。令和4年度の第81回では、当時4年生の津留結希さんの「クルッとごみぶくろ」が入選。下敷きやクリアファイル、ゴムなど身近なもので、ゴミ袋を1枚ずつ取り出すことができる「お助けグッズ」を作りました。

## 山口定喜氏「正六位」



▲佐藤市長から山口ともみ氏に伝達

元波野村議会議員長の山口定喜氏に叙位「正六位」が授与され、長女ともみ氏に伝達されました。

山口氏は昭和58年4月から町村合併後の平成19年2月まで、6期24年にわたり、議会議員として村と市の発展に尽力しました。平成3年5月から7年5か月間は村議会議員を務めました。

## 草原に春を告げる炎



▲炎が草千里を黒く染めていった

3月4日、草千里で野焼きが行われました。地元牧野組合やボランティアなど合わせて141人が参加しました。安全確保のためにドローンも用いられ、観光客へ注意を呼

びかけるアナウンスや、火の監視を上空から行いました。

5日には北外輪山一帯と阿蘇山麓一帯での一斉野焼きも行われました。

## いちごがおいしい



▲いちごを手に笑顔の園児

2月28日、波野保育園の年長児と年中児合わせて6人が、一の宮町宮地の犬飼秀綱さんのハウスでいちご狩りを楽しみました。園児らは「おいしい」と楽しげな声を上げながら、季節の味を楽しみました。

## 楼門見えた 復旧までわずか



▲楼門を前にガイドの説明を受ける来場者

熊本地震で倒壊し、復旧工事が進められている阿蘇神社楼門で、3月5日から12日までの期間、素屋根内が一般に公開されました。訪れた人は、ボラン

ティアガイドの説明を受けながら、楼門の荘厳な姿を楽しみました。工事のため建設された素屋根は、12月までに解体される予定です。